

令和6年度阿倍野区区政会議  
まちづくり部会（令和6年7月18日開催）における主な意見等

令和7年度施策・方針に向けていただきたい意見

- ・「広報あべの」1面の下段に「町会・自治会に加入しませんか」と掲載し、町会がされている活動内容について掲載してきましたが、アピール性に欠けるというご意見も多くいただいている。どのような内容であれば、加入されない方、若年層へのアピールにつながるか
- ・区民が魅力的に感じる町会活動について

○町会加入促進について

- ・町会でも町会員を増やそうといろいろなイベントや懇親会をやっているが、なかなか増えない。マンション住民が町会になかなか加入してもらえないし、管理組合はマンションにポスターも貼らせてくれない。マンションの管理人とアポを取るのも難しいので、地域のみなさまがどんなふうになっているのかお聞きしたい。  
私の町会では、会員数を増やすために、お地蔵さん祭り、餅つき、町会の懇親会も予定しており、若い人がおられたら、声をかけたり、町会だよりを渡したりしている。  
去年は町会だよりを500枚くらい配ったが、加入者は1名くらいでなかなか入ってくれないのが現状。地域活動協議会の事業でも各町会の町会だよりを受付で配って、興味があれば申し込んでもらえるよう地域活動協議会へ提案しているところ。  
歳末夜警、餅つき、地蔵盆やまちなか防災訓練のちらしに、町会加入の申込先のQRコードをつけて、カラー刷りで配れるだけ配った。  
マンションにもイベントのポスターを貼ってほしいが、管理組合のOKがなかなかでないのので、マンションの理事会に依頼をしてOKができれば、町会が取り組む安全・安心に関するポスターを貼らせていただいたりもしている。  
町会だよりについて、防災は備蓄や訓練、レクリエーションはお祭り、地蔵盆や懇親会、あとは安否確認のために町会名簿を作成していることや写真を載せた町会だよりを発行している。
- ・戸建ではお願いにいけば町会に加入してくれるが、マンションの場合はワンルームは絶対入らない。ファミリータイプでも管理組合を通して交渉しようとしても交渉に応じないことがあり、各部屋に町会入会の案内ちらしをポスティングしている。  
イベントには町会に加入していないマンションの子どもも来るが、イベントへの参加を断るわけにもいかないし、どんなふう町会員を増やしていったらいいのか悩んでいる。  
はんなん祭りでは町会加入の受付をしようと思っている。
- ・小学校で行事をすると多くの方が来られるが、町会に入っていない方が多い。その方々に町会加入してもらうには、どんな取組みが必要か知恵を絞る必要があると思う。  
行事を実施すると、子供さんが学校からちらしをもって帰るので親子で参加はするが、単発の参加になる。それを継続していけるような形になればいいと思う。  
金塚地域の方は、常盤小学校、丸山小学校に通っている子どもが多く、他の小学校に通っている子どもの親御さんをどんなふうに取り込めばいいのかと地域でも課題だなと話している。  
その取り込みをすることによって、町会の加入率をあげられたらいいと思う。

### ○町会加入のメリットについて

- 町会には加入してるが、メリットって何だろうなって考えるとなかなか言語化できない。回覧板が回ってきて、情報をもらったりとか、防災のときには必ず顔を知ってるほうがいいだろうとか、そういう感覚はあるけど、それが大事だというのは、なかなか若い人に伝わらないだろうと思う。

情報を取るとしたら、デジタル（インターネット）ではあんまり出てこなかったのが掲示板とかで知ったり、隣の人や家の前の人に教えてもらったりして情報を知ることがあった。

町会に加入したら楽しいイベントがあるよとか、ボランティアについても、例えば単発で、土曜日に仕事が休みでテントを立てるだけのお手伝いしてもらったら嬉しいとか具体的に知りたいなと思う。
- 地域の新聞を定期的に発行し、行事や地域の団体の紹介等を定期的に入れて配付している。あとは、町会員の方に何かあった場合に一人住まいの方は特に何かあった時に親族に連絡がつくよう名簿を作成している。
- 単発で楽しむだけの方を町会につなげていくということが難しい。役員をさせられるから、単発的にしか顔をださない人もいる。防災訓練や公園の清掃などもあり、町会の行事にいろいろ参加し、経験していく中で、理解してもらえたらいいと思う。

マンションでも人と廊下で会えば挨拶くらいはしているし、長期計画にはなると思うが、町会加入もお願いしやすくなるかなと思う。

子どもさんがいる家庭は、地域活動協議会のいろんな事業に参加してくれているので、「連合町会や地域活動協議会がやってる事業です。」と伝えて、何度か行事に参加してもらえる状況になった時に改めて町会加入の話をして町会に加入される方もおられると思う。

町会のメリットという難しいが、もしもの時のために、町会に加入した方がいいのではないですか、という言い方をしている。ただ、若い人は災害が起きても自力で対応できると考えているし、「え、町会？」という反応をする方もいる。大災害が起こったときに助け合いましょ、それが町会の最大のメリットだと思う。
- メリットが何かということについて、つながりができるということであると、今日のお話を聞いていて思った。地域のことをこんなに考えてくれている方と、まず出会って話す時点で、地域の役員の方を覚えるだろうし、加入のメリットよりも、まず人と出会って話せるとか、イベントを催してくれることで、そこに参加できる。参加したら、顔見知りとまではなっていないけど、あの人の顔知ってるわ、とか、顔を知っているから挨拶しようとなるかも知れないし、第一歩なのかなと思う。対話するとか、会うということを作ってくれていることだと思う。

### ○地域活動の担い手について

- 10 地域（他の連合町会）では、どのように行事を計画・実行するのか感心がある。  
8月にはなんなん祭りを予定しているなか、スタッフもたくさん必要で各町会で募集しているが、お盆前で参加して下さる方が少なく、1時間でもいいから来てほしいといってもなかなか来てもらえない、どんなふうにすれば若い人が参加してもらえるか悩んでいる。
- 阪南小学校の児童も 1,000 人を超えており、その親御さんがどんどん地域に入ってくれたらいいのだが、青少年指導員も辞めると次のなり手がいない。  
例えば町会で考えているのが、ボランティアクラブのようなものを作って、イベントの忙しい時に1時間でも、テントを立てるだけでも来てほしいと募集したら何人かは来てくれる。次はまた、餅つき大会あるので来れるようなら来てほしい、とかそんな形で行事を手伝っていただけたら、地域に何かと 溶け込んでくるのかなという風に考えている。

### ○地域活動の担い手について（ボランティア体験）

- 中学生や、小学生の総合の時間や社会の時間に、社会勉強として連合町会長さんと呼んで講演会をしてもらうのもいいと思う。今すぐに、良さとか価値は伝わらないかもしれないが、町会に入ったらこんなことができるのか、という未来の町会のリーダーを育てる感じで職場体験のような形で町会体験、ボランティア活動を試してみてもいいのではないかと。  
経験することで、必要性があるから続けていく価値があるということ、大人になる前の社会勉強の一つとして、夏休みにお祭りのお手伝いや町会の行事を体験するプログラムなどを作って取り組んでみたらどうかと思った。  
授業を通じた体験をして、自分のところの町会にもってかえるという意味でも良いと思う。  
他の町会でやっていて、自分たちもしたいよね、とか動機づけとして、町会っていいよね、と思わせることができたらと思う。  
実際のお手伝いとなると、小学生は難しくても中学生、高校生ぐらいになるとテント張りとかなら「手伝います！」ということもできると思うし、近所のおじいさん、おばあさんの安否確認に協力できたり、少し期間がかかるかもしれないが、廃れていく組織ではなく、育てる組織、蘇る組織として町会があればいいなと思った。

### ○地域活動の担い手について（子どもたちの防災意識の向上と町会の役割について）

- 小中学生が防災に取り組む姿勢をさらに前向きにするために、ぼうさい甲子園に参加するなど、結果を残していくようにすれば、その取り組みが引き継いでいかれる形ができるのではないかと。  
中学校は職業体験、小学校ではまちなか探訪をしていたり、いろいろな体験には参加しているけど、町会のことや防災訓練で、一時避難所は町会ごとに分かれているとか、町会長さんがどんな活動をしているのかというのはわかっていないので、そういうことを学んでもらうというのは重要だと思う。  
来年3月くらいに女性をターゲットにした新しい形の防災訓練をやってみたいと考えている。  
家庭の備蓄のことや避難所の女性の困りごとなどの視点を重視した訓練をする、子どもが主体となって親を呼べるような訓練をして、ぼうさい甲子園のようなコンクールに参加する、そして阿倍野区全体に取り組みを拡げていくというようなことを考えている。

### 令和7年度施策・方針に向けていただきたい意見

- ・阿倍野区の魅力である都市景観資源や大阪市あきないグランプリの入賞店舗などを「おさんぽ map」に集約し、発行してきましたが、内容の充実を図るために掲載した方が良いと思われる阿倍野の魅力について
- ・「おさんぽ map」は紙媒体、デジタルブックでも発信していますが、そのほか、認知度を向上させるための配架場所や方法について
- ・地域団体等が実施するイベントなど「阿倍野区の魅力」のアピールについて

#### ○おさんぽmapについて

- ・4版目が置いている場所は、どこでお知らせしているのか。  
「あべのって」や「ままちっち」などの団体のSNS等で発信するなど協力したいと思った。
- ・掲載されているお店は何かで募集しているのか。  
掲載をするかしないかはどのような基準でしているのか。  
おさんぽ map の第1版から第4版までで掲載されているお店は全部違うのか。
- ・お風呂屋さんは何の理由で入っているのか。  
「災害とつながりのあるまちづくりに」という項目に関連して、遊びに来ている方や仕事の方が、いざ地震が起きた時に避難する場所がわかるような地図が載っていたら、このマップが遊んでいるときや会社や学校にあってもいいと思う。災害マップみたいなものも並行してあったら、小学校に配ってもいいんじゃないかとか思う。  
掲載店舗としては、商店会連盟と市で実施しているあきないグランプリの受賞店舗が掲載されているので、区商連への加入促進なども含め基準を守っていただけるとありがたい。  
おさんぽ map を地図みたいに拡大版にして最初か後ろにつけておけば便利かと思う。
- ・おさんぽ map の評価について、本の配布数とか、スタンプラリーのプレゼントがどれくらい出たから結果がよかったとか、評価の基準があるのか。  
他区でもこのようなマップをやっているのであれば、そこの周知方法を参考にされたりしているのか。

### 阿倍野区将来ビジョン（素案）に対する意見

#### ○成果目標の設定について

- ・成果目標は、絶対にこの程度の数値は要るだろうと思うのが目標値なので、去年50%だから今年60%ではなく、命が関わっているから必然的に70%か80%は必要だという感覚での目標がいるんじゃないかと個人的には思う。

### その他の意見

#### ○帰宅困難者対策について

- ・天王寺周辺は遠くから通勤している人も多く、地震で地下鉄が止まるなどの際の対策や計画はどうなっているのか。  
阿倍野区は地下鉄駅が多数あり、地下鉄乗車中の被災に怖さを感じている。駅間でも停車して構内から地上に上がる対応だと聞いたことはあるが、区役所などはそういった避難訓練はしているか。